

不祥事防止に向けて

水戸市立見川小学校

学校教育は、児童や保護者及び地域の皆様との信頼関係の上に成り立つものであり、教職員による不祥事は絶対にあってはならないことと認識しています。そこで本校では、不祥事防止やコンプライアンスの確立及び児童や保護者及び地域の皆様との信頼関係構築を目的として、下記のように取り組みながら、全教職員で不祥事の防止に取り組んでまいります。

記

1 研修の充実（組織で取り組む不祥事防止）

「定期的・計画的な研修」と「時機をとらえた研修」、「コンプライアンス委員の企画によるボトムアップ型研修」と「管理職等が実施するトップダウン型研修」を組み合わせています。

- ・毎週金曜日の職員集会時に研修を実施しています。各学年等の生徒指導担当者を中心とした好事例の紹介、対応についての共有を行い、実践につなげられるようにしています。
- ・県教育委員会や市教育委員会からの通知、報道機関等によって取り上げられる事案等について研修を実施しています。（時期をとらえた研修）
- ・コンプライアンス委員の企画によるボトムアップ型研修では、グループ協議やロールプレイ等を取り入れながら、自分事として考えたり、既成概念の再構築を図ったりしています。内容は多岐にわたり、体罰、情報漏洩、学校徴収金の不適切な処理、わいせつ、セクハラ、交通事故等について計画的に実施しています。（定期的・計画的な研修）
- ・管理職等が実施するトップダウン型研修では、豊富な資料を準備したり、ベテラン教職員の話を取り入れたりしながら、未然防止について、教職員全員が同じ方向性をもてるようにしています。

2 自分事として捉える意識の向上

不祥事防止やコンプライアンスについて、教職員が自己目標を設定しています。

管理職と面談をして目標を設定し、定期的に確認の面談も実施しています。自己目標を設定することで、意識の向上を図るとともに、達成することで充実感を味わえるようにしています。

3 開かれた・地域と共にある学校づくり

児童や保護者及び地域の皆様から意見を聴き、対話に基づいた学校づくりに努めています。

学校運営協議会やPTAで意見交換の場を設定、児童や保護者アンケートを定期的実施、地域の各種団体との情報交換等、多様な意見を取り入れる場を数多く設定し、学校を様々な方々によく見ていただいています。

4 管理職による支援

不祥事防止とコンプライアンスの確立には、職場環境は重要と認識し、管理職が率先して、違和感を積極的に発言できるような風通しの良い風土づくりに取り組んでいます。

また、教職員一人一人とのコミュニケーションを大切に、特に業務上の課題や悩みについて丁寧に把握し、助言に努めています。